

退職者 NO.94

こだま会報



まちからむらから一人ぼっち の高齢者をなくそう



大雄山最乗寺の紅葉 (高木信幸さんの作品)

目次

- ・表紙写真／コラム…①
- ・趣味の会「歴史教室」
／手作り文化祭…②
- ・こだま俳壇／最後の
引っ越し…③
- ・会員紹介 (小山武衛士
さん) …④
- ・BOOK／予告…⑤
- ・第25回日本高齢者大会
……………⑥
- ・自治労連退職者連絡会
第14回定期総会…⑦
- ・映画随想／料理教室／
絵手紙……………⑧

私が入学した群馬県立渋川中学校 (現渋川高校) の校歌は「一州に野を展げたる全き姿や赤城嶺の」、

ふるさとの山々に 見守られ

生方武羅夫



子持山 (群馬県)

「一隅を照らす」人間になることを期し、郷関を出た「紅顔の美少年？」も、いまや「白頭の翁」である。体力は衰えつつあるが、社会の改革を目指す我が血潮はいまも熱く燃えている。

た。それゆえ住民はたたか

ものであ

こには大田道灌も在城したことがあった。吾妻川に八ツ場ダムを建設する計画は紅葉が見事な吾妻溪谷を水没させ、地域住民の生活を根底から破壊するものであ

子持山の楓の紅葉が紅葉するままで、私はあなたと添寝をしていたいがある。あなたがどう思うか、との歌意である。

散歩道

「児毛知山若かへるでもみつまで寝もと我は思ふ汝はあどか思ふ」(万葉集 巻第十四 東歌 相聞)

よや榛名の嶺に懸る日は燦爛の紅の色」と両山を歌い込んでいる。赤城山の西側を利根川が南に流れ、榛名山の北側では吾妻川が東流し、二つの川は私の村の鼻先で合流する。合流点に近い吾妻川の左岸には関東管領山ノ内上杉氏が上野国支配の拠点とした白井城址がある。こ

楽しい 趣味の会

趣味の会は、長生きの散歩道

ご一緒に歩きましょう!!

第50回 教室 歴史散策

東京・雑司ヶ谷寺町・護国寺を訪ねて

日時は9月12日(月)、10時から15時30分。出席者は女性7人、男性7人の14人。

散策経路

はじめに

池袋周辺は、巢鴨刑務所跡地にサンシャインシティが建ち、にぎわいを増している。しかし、南東にある雑司ヶ谷寺町と護国寺は都会の喧騒に囲まれて、ひっそりと昔のたたずまいを残していた。

①本立寺 徳川大名榊原家代々の奥方の菩提寺。榊原高尾(8代政峯の側室、吉原遊女・高尾太夫)の墓もあった。

②法明寺 日蓮宗のお寺。梵鉦は一見の価値あり。下縁に曲尺、算盤などの紋様がある。桜の名所。江戸時代から鬼子母神堂とともに、参詣者が多い。

③雑司ヶ谷鬼子母神堂 法明寺の飛び地にある。安産、子育て(こやす)の神様。「鬼」の鬼子母神がお釈迦様に帰



鬼子母神にて



護国寺境内の案内図

依して菩薩になった伝説がある。「鬼」は角のない「鬼」である。境内にある大公孫樹(子授け銀杏)に私は注目した。

④大鳥神社 「ほうそうの神様」。⑤清立院 日蓮宗の尼僧寺。雨乞いと皮膚病の祈禱寺。日蓮聖人の立像は立派。

⑥雑司ヶ谷霊園 明治7年、東京府が開設した共同墓地。夏目漱石やサトウハチローなど文化人の墓がある。墓地めぐりは楽しかった。



夏目漱石の墓石(標)

⑦護国寺 徳川5代將軍綱吉の時代に開山。幕府の財力と元禄文化の粋を集めた伽藍は一見に値する。私たち一同は、本堂の畳の上で憩った。癒されたひとときだった。

終わりに拙句を

麦とろや歴史かみしめる昼餉かな
鬼子母神子育て終えて公孫樹抱く
護国寺の伽藍に憩う残暑かな

扶助子(湯川 勉)

手づくり文化祭のご案内

一神奈川自治労連退職者会主催一

- ★絵画・写真・絵手紙・陶芸・俳句・短歌・出し物(合唱・フラダンス等々)
- ★気軽にご応募とご参加を!

とき: 11月23日(木・祝) 10時~15時
ところ: 横浜市従会館3階(桜木町下車)
連絡先: こだま会事務所 045(212)3179



昨年の文化祭



「こだま俳壇(9月)」

新米の届いて弾む国訃り
三井 光子
読むことも書くことも失せる暑さかな
鈴木志げ子
とんぼ捕り夢中になりし昭和かな
白石 為康
子供代表人間信ずと原爆忌
横川美代子
菊月や荒ぶる夜の長々し
白井保次郎
悲しみに色あらば朝顔の紺
坂 守
階段にとんぼと並びひとやすみ
松尾佐知子
水面をたたく蜻蛉が雨を呼ぶ
井村 友彦
朝顔や杖にすがって先を見る
中村 桂子
「赤とんぼ」老人ホームの愛唱歌
木村 武子
赤とんぼ大漁旗の風に舞ひ
鳥海 敏雄
お手本は「老いの才覚」葛の花
高橋 和江
産土の宮の茅屋に草の花
小川 水草
雲の峯母のない子に我もなり
田中 一男
目薬の頬にばたばた秋の雷
石崎 博美
真青なる空どこまでも終戦日
島田多嘉子
昔とんぼ昔の方へとんでゆく
太田 土男

最後の引っ越し

木村 武子

学校を卒業し、就職すると先ず家から出て下宿。戦後の家のない時代、探すのは大変だった。続いて間借り、借家、持ち家と、だんだん大きく、広い住居になったものだ。

今度の引っ越しは、一人住まいのワンルーム。初めて大から小、広から狭となる。広さが大体四分の一程度になるので、すべての物を四分の一圧縮しなければならない。

写真の処分

最初に手掛けたのは写真。バスタオルの箱に10箱以上あった。図書館務めだったので、分類するのはお得



意。引っ越し先輩の知恵も借りたが、3回くらい分類し、厳密にはテーマをいくつか立てて、テーマごとに枚数を10から20枚程度に抑える。3週間くらいかかったか。

本はどうするか

本を買うのはずっと抑えていたので、そんなに多くない。パソコンのインターネットで『BOOK・OFF』を探す。横浜で、自宅まで取りに来てくれるところが見つかった。

本を取に来てくれ、持って帰って評価し、価値があれば対価を払うシステム。専門書には適さないだろう。雑本が多い私の本。段ボール11箱。52点が評価され、約2,500円ばかり…。ああ…。

溜った物ども

専門書についても、インターネットで探せば、良いところがみつかるだろう。
よくもまあ、こんな物がと
思うほど、趣味で集めた物、
頂き物を積んどく物、捨てか
ねて、モッタイナイと片隅に
突っ込まれていた物、趣味の
蒐集は本当に大事なものだ
け。もろもろの品々は、バザー



はがき絵・三井光子さんの作品

こだま会スキーツアーのご案内
カナダ・ウイスラー/バンクーバー
 とき 2012年1月13日(金)~19日(金) 6泊7日
 ところ カナダ・ウイスラー/バンクーバー
 参加費 20万円
 申込み 会報と同封のチラシに記入しファックスで
 申込締切 10月31日(月)
 *参加人員4人以上で実施します。





-32-

なぜ海外旅行か

1966年(昭和41)3月16日、県庁で4月に新設

される写真植字科の指導員として
神奈川県身体障害者職業訓練所に赴任の辞令をもらって県職員となった。東京銀座の歌舞伎座裏の小さな写真植字科の転身だった。

7年後、障害者の写真訓練からは離れて藤沢職業訓練校、技能訓練センター、職業相談センターと転動したが、障害者の職業リハビリテーションの仕事で、1993年(平成5)3月に退職するまでずっと続けた。

そんな中で、1974年(昭和49)の海外派遣研修生となり、一人で10月中旬から2か月間、ヨーロッパ5か国の障害者の職業訓練施設を訪問したことが、海外旅行の夢を育むきっかけとなった。そして5年後に県職労の『アメリカ西海岸旅行』に妻と参加して、退職したらぜひ海外旅行をしたいと強く思った。

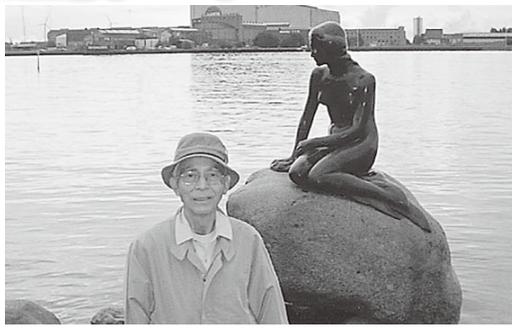
エスペラントとの出会い

定年退職をあと数年で迎える1

989年(平成元年)の春、先輩のKさんから「外国旅行したいなら、エスペラントを習うのが一番いい」と教えてもらい、エスペラントを学び始めた。2年後の1991年、ノルウェーの南西の港町ベルゲンで1週間開かれた世界エスペラント大会に初めて妻と参加した。

大会会場は年配者のクラス会の雰

私の海外旅行・連続20年 小山武衛士さん



デンマークにて (2011年)

囲気で再会を楽しんでいる人が多いので、私の白髪頭も目立たない。また、参加した1日遠足のフィヨルド観光も初心者に気軽に対応してくれる外国の先輩たちと楽しめた。

観光の旅から歴史の旅へ・連続20回の参加

翌年の1992年からは、友だち

作りや初めて訪れる場所を期待して、毎年世界大会に参加するようになった。帰国してからは地図を出して訪問した場所に赤い印をつけて、見てきたことを整理したり、世界史を学んだことはないが歴史の本などを読んで、素人なりに楽しむこともできた。

そしていつのまにか世界大会の参加が夏の宿題のようになり、各地で見聞きして肌で感じた体験が、私の勉強法のひとつになった。

何年たっても未知の土地への関心は衰えず、新しい出会いと発見を期待して毎年出かけていたので、今年はどうとう世界大会参加が、連続21回となり、これまで訪ねた国を数えると36か国になっていた。

特に印象に残っているところ

これまで訪ねたところはユネスコの世界遺産に登録されているところが多く、いずれも見ごたえのあるところばかりだが、次の国についてはいろいろ考えさせられた。

・オーストラリア…1788年にイギリスの植民地になったことにより、迫害された先住民アボリジニの悲劇。カンガルーの姿が見えないカングルー島(97年)

・イスラエル…反目することの多い一神教のユダヤ教、キリスト教、イスラム教が共存する聖地エルサレムの不思議。誰でも両手足を広げて浮かべる死海(00年)

・ブラジル…イグアスの滝のボート乗りとアマゾン川でのピラニア釣り(02年)

・中国…西安の兵馬俑、敦煌の莫高窟、中国が感じられない新疆ウイグルのウルムチ(04年)

・リトアニア…大国ロシア・ソ連に翻弄されたバルト3国のひとつ(05年)

・ポーランド…ヒトラーがユダヤ人撲滅を図ったアウシュビッツ強制収容所(05年)

・キューバ…スペインの植民地となつて消えてしまった先住民(10年)

【エスペラントとは?】エスペラントは、1887年に帝政ロシア領ポーランドの眼科医ザメンホフによって創案された特定の国や地域に属していない「国際共通語」です。文字はローマ字28字で、母音は日本語と同じアイウエオの5つ。単語の語尾は名詞が「O」、形容詞が「A」、副詞が「E」。単語はローマ字とほとんど同じように読み、アクセントは単語の最後から2番目の母音にあります。

予告!! 予告!! 予告!!

- 歴史教室(散策) <第51回>
 テーマ 一の宮「寒川神社」を訪ねる
 とき 11月14日(月)午前10時～
 集合 JR相模線(茅ヶ崎駅発)「宮山」駅改札口に午前10時
 会費 500円
 講師 中村猪一郎会員(予定)
 申込先 こだま会事務所045(212)3179
 又は045(361)0112(佐藤喜治)
- 俳句教室
 月例会(毎月第2木曜日13時～)
 11月10日 12月8日
 ところ 神奈川県自治会館又はこだま会事務所
 指導 太田土男先生(俳人協会評議員)
 会費 500円
 申込先 こだま会事務所045(212)3179
 又は井村友彦0463(81)4493
- 囲碁同好会(会場を藤沢市内に変更しました)
 月例会(毎月第1日曜日)
 場所 囲碁サロン湘南(JR藤沢駅近く)
 0466(50)5234
 申込先 こだま会事務所045(212)3179
 又は青沼慶祐080(1266)5396
- 食文化を楽しむ会(薬膳料理)
 とき 11月24日(木)11時～
 ところ 横浜市健康福祉センター調理実習室(JR桜木町駅前)
 テーマ 風邪予防の薬膳料理
 先生 亀井禎子会員 会費1500円
 申込先 山本文子 03(3728)2227
 亀井禎子 045(332)4601
- 「こだまサロン」(毎月最終木曜日)
 とき 10月27日/11月24日/12月は休み/1月26日(いずれも14時～16時)
 ところ かながわ県民センター10階「フリーラウンジ」(横浜駅西口徒歩5分)
 テーマ みんなで決めてフリートーク
 目印 テーブルに「こだまサロン」の表示をしておきます。
 問合せ こだま会事務所045(212)3179



BOOK

『前へ!』

東日本大震災と戦った
無名戦士たちの記録

麻生 幾著 新潮社刊 1575円 税別

東日本大震災の後、実に多くの震災や原発に関する本が書店に並んでいる。前号では放射能と原発についての

本を紹介したが、今回は大地震や原発事故の後、誰がどう動いたかを、現場で働く人たちに取材したルポを紹介したい。

第1章 福島第一原発の事故に
 対するため、現場に入った自衛隊・
 自治体の消防隊員が直面した事実
 水素爆発の後も、東電の技術者た
 ちは、放射能防御装置のされた免震
 重要棟にこもったまま現場に姿を見
 せず、連絡係は下請け企業を差配す
 る事務職員で、何を聞いても明確な
 答えが返ってこない。
 しかも放水する燃料プールの位置
 を示す配置図や設計図を出さず、カ
 ラー写真一枚を出して、「この当た
 りです」という始末。
 経産省の対策本部からは、海江田
 大臣(当時)の罵声に近い命令が次々
 と出されるが、果たして現場の状態
 を把握しているのだろうか。
 まさに決死の覚悟で現場に入った
 自衛隊員は、まだ万一の事態に備え、
 駐屯しているはずである。

第2章 道路を駆け! 未曾有の
 津波被害と戦った猛者たち
 地震や津波で破壊された道路や橋
 を復旧しなければ、被災者の救助は
 できない。
 仙台空港を間一髪の差で飛び立つ
 たヘリコプターのパイロットの、う
 めくような報告。
 東北地方整備局と国道事務所と出
 張所、それに地元の協力企業が、昼
 夜ぶつ通しで働いて、津波後わずか
 5日目で道路を開通させ、世界中を
 驚かす。
 第3章 省庁の壁を越え、命を
 救った勇者たち
 その日、地震発生直後、総理官邸
 地下一階にある「内閣危機管理セン
 ター」に、各省庁から三百数十人の
 職員があつまる。
 被災地から次々と要請される搜索
 部隊の派遣・支援物資の輸送などを、
 「局長」の決断で即時に動かすため、
 缶詰状態で働き続ける国家公務員た
 ち。
 そして、混乱している地方へ派遣
 された人たちの目覚ましい活躍。そ
 れに対し、あまりにも無責任な東電。
 詳しいことが知りたい方には、『東
 電帝国その失敗の本質』(新潮文庫・
 志村嘉一郎著)をお奨めする。
 (新井通子)

第25回日本高齢者大会 in 青森報告



「原発なくせ」「くらし守れ」と全国集会

憲法13条・25条

を前面に押し出した運動を

3月11日の東日本大震災で開催が危ぶまれていた「第25回日本高齢者大会in青森(9月12日~13日)」に参加しました。参加者は1日目2070人、2日目2100人でした。

大会で強調されたのは、①国民健康保険の改悪と高齢者医療制度、②介護保険制度、③老人世帯、独居老人への詐欺事件

の多発、孤独死、④社会保障・税の一体改革・税番号号などの問題が、高齢者の将来設計を狂わせかねない事態にあることでした。

背景に、国民の総人口が前年に比べ約18万人減少して約1億2751万人、65歳以上の高齢者は過去最高の2901万人(『2010年版高齢者白書』)、高齢化率22・7%となり、若者の未婚率

の上昇と団塊世代の高齢化が加わり、近い将来高齢化率25%が確実に becoming になっている状況があります。

国民負担の限度を超えた改悪に抗議を

2年前、「後期高齢者医療制度をなくそう」の国民の声を受け、政権が交代しましたが、民主党は政権に就いた途端、変質してしまいました。

大会では、「国会に社会保障・税制度などの改悪法案が提出さ



迫力ある「ねぶた」も登場

れると、民・自・公・その他が加わって100%通過してしまおう。上程される前が勝負」



- 神奈川県職員九条の会は結成6周年。同会場で記念撮影会を行います。13時に集合。
- 神奈川県職員九条の会は12月10日(土)13時~16時、横浜市開港記念会館1号室で「平和の集い」を開きます。講演は内橋克人氏(調整中)。テーマは「平和と3・11」

は、いまこそ奮起する時だ」「国民の負担の限度を超えた大改悪がもくろまれている。急いで学習を広げ、もっと怒りを、もっと抗議の行動を」と呼びかけがありました。

若者、子どもたちの将来を見据えて

山田実行委員会事務局長は基調報告で、「今年で25年目を迎え、高齢者の生活分野の問題解決を掲げてきたが、高齢者の幸せだけでなく、若者、子どもたちの将来を解き明かし、これからわが国と同じ問題をかかえる東南アジアの人々の指針になるよう運動を進めたい」と強調しました。

震災復興財源も社会福祉に回すお金も大企業と高額所得者の懐にある

日野秀逸さん(東北大学名誉教授)は記念講演で、「東日本大震災は地震・津波という天災が原発事故で人

災化した」「都市部でも農村部でも『暮しが一番困っている問題は何か?』のアンケートの問いに一位を占めたのが『隣近所のつながりが弱くなった』であった」「つながり」の弱体化と、医療を含む公共サービス(公務員削減、消防署員削減、病院の統廃合等々)の後退が、被災地である三陸沿岸部でも被害を大きくした」「この問題は全国にあてはまる。震災復興財源も社会福祉に回すお金も、大企業と高額所得者の懐にある」「日本の国債は95%が金融機関・政府・日銀の引き受けだ。法人税・配当課税を工夫すれば解決する」「憲法13条と25条を前面に押し出して運動を進めよう」と結びました。

大会は、消費税増税反対など6本の特別決議をし、次回は香川県で開らくこと決め、散会しました。

(事務局長・鳥居伸太郎)

震災・原発問題が大きなテーマに



全国自治体退職者 連絡会 第14回 定期総会報告 (静岡)

「介護・年金・医療等は充実を、消費税増税は許さず、組織強化で役割発揮」「自然エネルギーへの転換・原発廃止、核廃絶・憲法活かし平和な暮らしを」の方針採択

全国自治体退職者会連絡会の第14回定期総会が、自治労連定期大会の事前会議として8月20日に開かれました。今回は静岡市が開催地で日帰りということで、こだま会からは、全国

連絡会の事務局次長を担っていただいている加藤利秋さんを始め6人と例年より多い参加となりました。参加者を代表して、総会の概要を報告します。



あいさつする
城田会長

被災地の復旧・復興支援・原発問題が大きなテーマ

今年、東日本大震災・福島原発事故

を受けての総会。城田会長や自治労連本部中川書記次長の挨拶をはじめ、被災地である岩手県大船渡市からの報告があるなど、被災地の復旧・復興支援・原発問題が大きなテーマとなりました。

自治労連本部の中川書記次長からは震災支援活動報告。震災で多くの職員を失った陸前高田市をはじめ3地域に支援センターを設置し、全国の仲間が支援に駆けつけ、がれきの撤去や市の要請で広報配布、住民要望を聞く活動や農地の塩分対策として行われたひまわり作戦を実施したことなどが話され、また、当日配布された冊子『自治労連・原発問題政策』が紹介されました。

全体で7人から発言があり、岩手からは、「多くの犠牲を重ねた過去の震災もあったが、様々な安全施設やソフト面での対策もしてきているので大丈夫だろうという『安全神話』があった」「現在、仮設住宅もでき、復旧・復興に向けた岩手県民会議が結成され、がれき撤去・被災者救済の要望・提言を地域から提出するな

ど、活動が広がってきている。しかし、元の土地に住めるのかといった問題や二重債務問題等の大きな課題も残っており、頑張っていきたい」との発言がありました。

その他の参加者からも、それぞれの退職者会の活動報告、被災地支援活動に参加した経験報告、年金問題や厚労省交渉に対する意見など活発な意見交換が行われました。

組織拡大・会員の絆づくりなど報告

私も急ぎよ発言することになり、当日配布した『こだま会報』（総会特集号）をもとに、今回8人の役員交代があったこと、会員の絆をつくる上での『こだま会報』の大きな役割・集団編集体制でやっていること、組織拡大の問題・強化などについて報告したところです。

自主参加の夜の交流会にも5人が参加し、他県の参加者と交流し、楽しいひとときを過ごしました。

加藤利秋さんが事務局次長に再任

総会には29退職者会、47人が参加し、全議案・決議案が採択され、全国連絡会役員として神奈川県から加藤利秋さんが事務局次長に、副会長に横浜市従退職者会の森田謙一さんが再任されました。

(代表幹事 加瀬文隆)

絵手紙



奥津弘久さんの作品

タケちゃんの料理教室 ①

しいたけの含め煮



●材料 (4人分)

干し椎茸小・20枚/酒・大サジ3/水・3
カップ/砂糖・大サジ4/だし汁・1カ
ップ/醤油・大サジ3

●作り方

- ①干し椎茸は一晩水につけて戻し、石づきを取り、軸も切り戻し、傘だけにする。
- ②鍋に椎茸と水3カップを入れて、弱火で煮て、柔らかくなったら湯を捨てる。
- ③再び、だし汁1カップを入れ、弱火で蒸らすようにして、だしを含ませる。
- ④酒・砂糖と醤油大サジ1を入れて煮る。
- ⑤最後に、残りの醤油を加えて、煮含ませる。

●コッ

弱火にして長い時間をかけて煮ること。

(飯塚武弘)

編集 後記

▼「秋深き隣は何をする人ぞ(芭蕉)」—— 皆さんいかがお過ごしですか。

▼「手作り文化祭(11月23日・横浜市従会館)」には仲間をさそってどうぞ。

▼「会員紹介」に登場いただいた小山武衛士さんは連続20年、海外旅行をされ、訪問国はなんと36か国。エネルギーシユな小山さんに学びたいものです。

〈鳥〉

映画随想 ⑧

今年99歳になった新藤兼人の新作映画『一枚のハガキ』は多くの観客に感銘を与え、日本映画としては久々のロング・ラン上映中だ。農村を舞台に「銃後」の生活を送る人々の悲劇を訴えたこの反戦映画は、新藤兼人の健在ぶりを示す作品であった。

新藤兼人は明治45年に広島県に生まれた。山中貞雄の『盤嶽の一生』に感動し映画界入りを目指す。フィルム乾燥の雑役が永い映画キャリアのスタートであったが、以後、美術助手、建

築監督を経てシナリオ作家となる。そして昭和19年4月に二等兵として召集される。戦後は新進の脚本家として溝口健二や木下恵介、そして後に盟友となる吉村公三郎等に作品を提供し脚光を浴びる。しかし、兵役経験者としての反戦、また広島出身者として原爆や核に対する関心がその後の大きなテーマとなってゆく。

監督としての2作目が世界における反核映画の第1号とされ

新藤兼人の映画

田中一男

多くの映画祭で受賞を果たした。

さらに、米国がビキニ環礁で行った水爆実験で被爆したマグロ漁船とその船員たちの悲劇を描いた『第五福竜丸』、広島で被爆した移動演劇隊を描いた

る「原爆の子」である。この映画は、昭和28年のカンヌ国際映画祭に出品され大きな反響を呼んだが、米国の圧力により受賞妨害を受けた。しかし『原爆許すまじ』という主題は世界中の支持を得て、他の多くの映画祭で受賞を果たした。

監督49作目の『一枚のハガキ』は最後の監督作品だ、と公言しているが、来年は百歳、50本目の新作をファンは切望している。

会報No.94
2011.10.15

編集・発行
神奈川県職労連退職者こだま会
発行人 加瀬 文隆

〒231-8588
横浜市中区日本大通り1
県庁本庁舎6階

TEL 045-212-3179 (代表)
FAX 045-212-3178 (代表)
URL <http://kodamakai.sakura.ne.jp/>

Eメールアドレス kodama@kensyokuro.ne.jp